

みくにっ子見守り隊（福井県）

活動地域と団体概要

福井県坂井市三国町からまいりました中谷でございます。よろしくお願いいたします。

私のところは福井県でも日本海側に面した町で、北に向かうとあわら市があります。その隣は加賀百万石のお膝元である石川県に入ります。南は、いま原発で揺れていますおおい町から高浜に入り、京都府の丹後町、舞鶴に行きます。

福井県坂井市は人口約9万 5,000 人、面積が 210 平方キロメートル、年間 500 万人の観光客が訪れ、これは福井県全体の観光客数の約半分となっています。わが三国町は、人口が約2万 3,000 人ほどです。面積が 42.46 平方キロメートルで、古くから港町として栄え江戸時代には北前船の寄港地として繁栄し、現在は景勝地「東尋坊」をはじめ、海水浴やウインドサーフィンができるサンセットビーチ、名所旧跡や芝政などのレジャー施設が点在しています。坂井市への観光客 500 万人のうち、8割の 400 万人が訪れます。その中に小学校が5校、生徒数約 1,200 人、中学校が1校で生徒数 690 人。高校もありますが、ちょっと調べてくるのを忘れました。そういう町ですので、我々見守り隊が普通どおり回ると 40 分から 50 分、少し丁寧に回ると1時間半、ねんしやに(丁寧に)回ると 2 時間かかります。

さて、みくにっ子見守り隊は、結成が平成 14 年4月、当時の町から委嘱された補導員を中心に結成をいたしました。現在の隊員数は 28 名。会社員や自営業、公務員、学校の先生など、男性 24 名、女性4名にて構成しております。名称は「みくにっ子」となっておりますが、幼稚園児や小学生から有職青少年、時には小さいお子さんをお持ちの父母までを主な対象とし、また見回り時間も各隊員の都合のつく時間に、『できる範囲で、できることを』をモットーに活動しております。

主な活動内容

具体的な活動の一つ目は、通称、青パトによる管内パトロール活動です。通常の補導活動は午後8時、遅くとも 11 時までですが、最近では管内に6つの 24 時間営業のコンビニができたたり、学習塾は午後 11 時ごろまで開いていたりと、子供たちを取り巻く環境や活動時間も大きく変化してきました。現在



福井県坂井市の概要

坂井市全体

★人口 = 約95,000人

★面積 = 210km²

★年間観光客数 = 約500万人
⇒ 福井県の観光客の約 1/2

平成18年3月20日に
4つの町が合併



三国町

★人口 = 約23,000人

★面積 = 42.46km²

★年間観光客数 = 約400万人

みくにっ子見守り隊

- 平成14年4月に結成
- 隊員数 28人
(会社員、自営業、公務員など)



13名の隊員が青色回転灯を持っており、それぞれ都合のつく時間、曜日に巡回しております。児童・生徒の登校、下校時間に回るメンバーもいれば、夜間に回る者、深夜に回る者など、首尾よく分散され、毎日まんべんなく巡回しております。そのうち皆さん方をお願いをしているのは、お金がない団体ですので、手弁当で回ってほしいということです。手弁当というのは、自分で全部賄いをして回っているという感じで取っていただいて結構かと思えます。

2点目は、青パトによる管内パトロールに関連した、青少年の保護活動です。先ほど言ったように、ちょっとおかしな子がいればそこに寄って行って話を聞いたり、登下校時の安全確保はもちろん、深夜のカラオケ店やコンビニなどでたむろしている青少年に帰宅を促したり、徘徊する若者に声かけを行い、相談相手になるなど、幅広い活動をしております。また、危ないなと思ったときには坂井西署に連絡を入れて警察の応援をいただくというやり方をしています。



3点目は、防犯啓発活動です。三国祭りや花火大会では、人口の2倍から10倍以上の人が集まる状態となります。こういったときは、地元警察や防犯隊、消防団なども出動しますが、そのサポートとして我々も協力させていただいております。

4点目は、年3回ほど中学校周辺道路の清掃活動や市から要請のある地区内清掃活動などに参加をしています。隊員の中には中学生の父兄や、市役所の人もいるので、こういった活動にも積極的に参加をしています。



最後に挙げますのは、月1回の定例会議です。「子どもを考える会」と銘打ちまして、隊員の各自の活動報告、気になる事案の情報交換や、行事予定の打ち合わせなどを話し合います。小さな町ですので、

その話し合いの中で、誰々がたばこ吸っていた、駅前の3階で悪いことをやっていた、お宮さんの境内で何かしていたぞと、すぐに情報が入るんですね。そうすると、集中してパトロールに回るかたちを取っています。それでだめな場合は、警察に応援を求めて対処していただいています。高校生になると、我々では相手できませんので、警察官を呼んでいろいろアドバイスをいただいています。最近では「おっちゃん came」というので、我々が子どもを見つけるより先に青色回転灯を見つけて、そと逃げます。困ったものですね。

主な活動内容

月1回の定例連絡会議

- ・各隊員の活動報告
- ・気になる事案の情報交換
- ・行事予定等打ち合わせ



活動効果と課題

まず活動効果については、警察が運営する安心・安全情報ネットワークで、児童・生徒に不審な声かけ事案等の発生事案情報が登録されたメールに入ってくるのですが、これを見ましても、市内のほかの3町よりはるかに発生件数が少なく、この1年間は1件もございません。また、活動を通して、PTAの方々や警察はもちろん、小さな子供たちや地区のお年寄りまで、様々な世代の方たちと接する機会に恵まれ、ネットワークも拡大し、ともに町を良くして行こうという機運が高まってきております。

今後の課題ですが、活動経費の捻出ということで、平成20年まで手弁当でやっていました。しかしながら、青少年育成坂井市民会議三国支部から、「おまえたち、何もいとかわいそうだから、これをガソリン代として使いなさい」ということで、7支部から1万円ずつ、7万円をいただいています。それは、私たちの青灯の球切れやステッカーの破れなどの修理に使わせていただいています。この活動を将来も継続していくためには、新たな若い隊員にも入っていただかなければなりませんし、そのためには個人の善意負担だけではなかなか困難であり、このように応援してくれる機関や団体との協力体制の強化が必要だと考えています。

活動効果と今後の課題

活動効果

- ・声かけ事案の減少
- ・新たなネットワークの増加
- ・安心なまちづくりへの貢献

今後の課題

- ・活動経費の捻出
- ・後継者の育成

質疑応答

●質問 青パトを13台持っておられるということですが、この13台は隊員の皆さんの自家用車ですか。

○回答 そうですね。

●質問 私たちは青パトが3台ですが、青パト専用車を持つことは今の経費で無理なものですから、隊員の車を青パト用に使っています。そして、青パト活動をしていることを注目していただくために、小学校の校歌をバックグラウンドに流して、それに防犯の呼びかけをして回っているんです。みくにっ子見守り隊は、青パト活動にすごく熱心に取り組んでおられるようですので、その青パト活動でアピールしていると

というような、具体的なものはありますか。ただでさえ、青パトは夜になったらすごく光りますので、遠くからでもわかると思うのですが。

○回答 青パトって防犯活動のために回っているという認識だと思います。私の場合は、さらに子ども達の深夜徘徊防止にも思いを持っています。皆さんご存じかどうかわかりませんが、子どもたちが悩める心を持って外に出るといのがかなりあるんです。その子たちが、私たちが青パトで回っているときに近寄ってくれて、「おっちゃん、こんばんは」って来てくれるんですよね。「どうした、こんな夜遅く」「うん、ちょっとね」と。私はそういうことを聞いてあげるんだよという気持ちを持って、青パトを始めたわけです。もう何百人という子どもたちが、私の周りに来ています。その子どもたちの声を一生懸命に聞いてあげることによって、解決するものがあればいいんじゃないかなと。ところが残念なことに、私は活動をして、2名の17歳の若者が死にました。残念なことです。一人は麻薬で死んでいきました。まさかこんな田舎に、麻薬で死ぬ若者がいるなんて、とても信じられなかったです。去年は残念なことに、自分で死んでいきました。何でもっと聞いてあげられなかったんだらうというショックが、いまだに残っています。私たちはバレーボールをしていて、その若者たちの仲間の一人でしたが、今みんなが悩んでくれています。今後のわれわれの後継者になってもらえたらいいなと思います。

私は夜型人間なので、夜中の1時から4時ころまで回っている場合もありますね。それで子どもたちのSOSのメールが来たら、私は放っておけない立場というか、性格なので、その子に向かって走っていきます。